

## 新ごみ処理施設整備に関する市民説明会を開催しました

11月28日、産業文化会館ホールで「新ごみ処理施設整備に関する市民説明会」を開催し、114人が来場しました。

今回の説明会では、「事業の進ちょく状況」や「今後の見通し」について説明し、参加者から多数のご意見・ご質問をいただきました。



### ▶現在までの進ちょく状況

期 日	概 要	備 考
令和2年 4月 1日	庁内に新組織の発足	新ごみ処理施設建設準備担当設置
4月28日	新ごみ処理基本構想策定業務委託の契約締結	現状と課題の整理、広域化の検討
7月15日	広域化勉強会(第1回)	羽生市と広域化に向けた検討
8月20日	広域化勉強会(第2回)	
10月22日	広域化勉強会(第3回)	
11月28日	新ごみ処理施設整備に関する市民説明会	事業の進ちょく状況報告と意見交換



広域化に向けた検討は、現在、羽生市と意見交換を行っており、一定の方向性を見出すまで、継続して協議を進めていきます。

令和3年度は、国の交付金を受けるために必要な循環型社会形成推進地域計画の策定やごみ処理に関する基本的な事項について定める一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の改定などを行う予定です。

### 参加者からいただいたご意見・ご質問(抜粋)

Q. どのような種類の施設建設を考えているのか。

A. 可燃ごみ、不燃ごみおよび粗大ごみを処理する施設を基本に検討しています。

Q. 広域化のメリットとデメリットはどのようなものか。

A. 大きなメリットとして、施設建設・運転管理に係る事業費を削減することができます。一方、デメリットとして、意思決定の過程が複雑になり、時間を要することになります。

Q. 羽生市と広域化した場合は、建設地は大字小針になるのか。

A. 大字小針に建設する予定です。

Q. ごみの減量化は、すぐにでも取り組むべきではないか。

A. ごみの減量化は喫緊の課題と認識しており、できることから進めていきます。

Q. 今後も説明会は行うのか。

A. 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、事業の進ちょくに合わせて開催していきます。

説明会の開催結果や事業の進ちょく状況は、市ホームページをご覧ください。

▶問い合わせ 環境課新ごみ処理施設建設準備担当(内線 384)

## 竹井好行さんが農事功績表彰を受賞しました

11月16日に、公益社団法人 大日本農会主催の令和2年度農事功績表彰の発表があり、市内埼玉の(株)竹井農産の竹井好行さんが野菜部門で緑白綬有功賞を受賞しました。今回の緑白綬有功賞(野菜部門)には、全国で14人が選ばれました。

遊休農地対策で水田を使ったサトイモ栽培の新たな導入や、国内外から就農希望者を研修生として受け入れ、就農後も経営が安定するよう生産から販売まで支援する活動が評価されました。また、サトイモのみならず、カリフラワー、カブ、葉野菜などさまざまな品目を組み合わせて周年栽培を確立し、試行錯誤しながら独自の機械を作ることで年間雇用の導入や作業の効率化を実現しました。

今後について竹井さんは、「担い手不足による農地の放棄を減らすため、後継者の育成に一層の力を入れるとともに、地域に即した野菜を生産し、地域農業の再生に取り組んでいきたい」と抱負を述べてくれました。



※従前は総裁の秋篠宮皇嗣殿下御臨席のもと表彰式が行われていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。

▶問い合わせ 農政課(内線386)

## 明治安田生命保険相互会社と健康づくりに 関する協定を締結しました



協定を締結した岸本常務執行役員埼玉本部長(右)、大山熊谷支社長(左)と石井市長

12月10日、健康づくりに関する「行田市と明治安田生命保険相互会社との連携に関する協定」を締結しました。

これにより、市の健康づくり事業やがん検診事業を協力して周知することや感染症予防に関する事項を一緒に実施するなど、本市の健康づくり体制のさらなる充実が図られます。

▶問い合わせ 保健センター ☎553-0053

## 蓮田市と「情報システムの共同利用に 関する覚書」を締結しました



「情報システムの共同利用に関する覚書」を締結した中野蓮田市長(左)と石井市長

11月13日、蓮田市と「情報システムの共同利用に関する覚書」を締結しました。

これにより、本市と蓮田市が連携協力し、情報システムのうち基幹系システムに係る経費の削減や住民サービスの向上を図っていきます。

なお、複数市による基幹系システムの共同利用は県内初の取り組みです。

▶問い合わせ 財産管理課情報担当(内線327)